



集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊集落支援担当の井上です。

今回は「やどりぎ案内」によるシャッターアート、奥川盆踊りなどについて紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当
いのうえ とも 井上 朋 隊員

やどりぎ案内による 展示

8月1日から1カ月間、美大生を中心としたアートチームの「やどりぎ案内」が西

会津国際芸術村と奥川地区中町集落の2カ所にて作品展「土地への宿り方」を開催しました。やどりぎ案内は、2021年から中町集落にて活動をはじめ、これまでにシャッターアートや屋号ワークシヨップ、草木染めをしてきました。その他に奥川での共同作業である人足にも参加し、地域の皆さんと積極的に交流をしています。

今回、中町集落ではアーティストの個人作品を集落内の各地に展示しました。ま



た、「味処さかや」の横で新たなシャッターアートの公開制作も行われ、飯豊連峰を表現した鮮やかな作品が誕生しました。

地域の皆さんは、それらの展示を見て、やどりぎ案内とのエピソードを話し、「これはどういうことを表現しているのだろう」と興味を持って展示を見ていました。まだ作品を見たことがない人は、奥川に来て2つのシャッターアートを見ていただきたいなと思います。

そして、西会津国際芸術村では、これまでの活動のアーカイブが展示され、やどりぎ案内が行ってきた活動の軌跡が表現されており、奥川での思い出がよみがえるような作品展となりました。



武蔵野大学の学生が 奥川盆踊りに参加！

8月14日、奥川みらい交流館で「ふるさと奥川盆踊り大会&ビアガーデン」が開催されました。



今回で、復活後15回目の盆踊り大会となり、今年は武蔵野大学の学生の皆さんが前日の準備と当日の運営のサポートに駆けつけてくださいました。当日は、やきとりやからあげ、かき氷などさまざまな屋台が出ており、とても賑やかで楽しい盆踊り大会となりました。

また、200組用意をしていた狐のお面もすべてなくなるほど、多くの人が参加し、最後には抽選会の開催もあり、最初から最後まで大盛り上がるの大会でした。

極入・大聖歓喜天祭礼

8月18日、奥川地区極入集落で、大聖歓喜天祭礼が行われました。大聖歓喜天は、「極入のお聖天様」として耶麻郡一帯から新潟県まで広く信仰されてきました。また、火盗両難を防ぎ、縁結びや安産などのご利益があるといわれています。また、極入集落は、今から300年ほど前に、歴学者・安藤有益が幽閉された地としても有名です。今回の祭礼では、地元の人をはじめ、福島大学の岩崎ゼミの皆さんも参加して、先生、学生の皆さんが極入の歴史に触れ、楽しんでいました。今後も長くこのようなイベントが続けられるようサポートできればと思います。

